

平成 23 年度大磯町教育委員会第 4 回臨時会会議録

1. 日 時 平成 24 年 2 月 2 日 (木)
開会時間 午前 9 時 00 分
閉会時間 午前 11 時 30 分
2. 場 所 大磯町役場 4 階第 1 会議室
3. 出席者 竹 内 清 委員長
曾根田 眞 二 委員長職務代理者
大 橋 伸 明 委員
青 山 啓 子 委員
依 田 勝 也 教育長
福 島 伸 芳 理事
大 隅 則 久 子ども育成課長
鈴 木 義 邦 子ども育成課主幹
増 尾 克 治 子ども育成課子育て支援室長
松 本 卓 次 生涯学習課長
山 口 章 子 生涯学習課図書館長
佐 川 和 裕 生涯学習課郷土資料館長
山 口 信 彦 子ども育成課副主幹
4. 傍聴者 0 名
5. 付議事項
議案第 18 号 平成 24 年度当初予算における教育委員会予算要求について
議案第 19 号 平成 24 年 3 月補正予算における教育委員会予算要求について
議案第 20 号 大磯町立図書館の設置、管理等に関する条例等の一部を改正する
等の条例について
6. その他

(開 会)

出席委員が5名で定足数に達しており、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項の規定により臨時会は成立いたしました。

議案第18号 平成24年度当初予算における教育委員会予算要求について

書記が議案を朗読し、教育長から提案理由の説明を行った。

理事) 現段階での一般会計予算全体について説明します。一般会計全体で、歳入歳出それぞれ約93億円で、昨年度93億7千万円と比較しますと約0.9%の減となる予定でございます。そのうち、教育費といたしましては、51,967千円の増となる見込みで、その主な理由は今年度の国府中学校グラウンドの整備の終了により中学校費が減となるものの、国府小学校のプール整備等で小学校費が増となるものです。詳細につきましては、課長、室長等より説明しますのでよろしくお願い致します。

子育て支援室長) 子育て支援室関係の予算要求につきまして、ご説明させていただきます。議案第18号説明資料の1ページをご覧ください。まず、児童福祉総務費ですが、要求額が163,524,000円で、前年度予算額が148,150,000円となっております。前年度比較で15,374,000円の増額となっております。事業内容といたしましては、小児医療費の助成、子育て支援総合センターの事業運営及び放課後児童健全育成事業などとなっております。また、11月定例会での予算要求資料から大きく変わったところといたしましては、子育て支援事業の賃金及び備品購入費が減になり、小児医療費助成事業の扶助費が増になったものがあります。子育て支援事業の賃金は、東部地区のつどいの広場の賃金の減額、備品購入費については、赤ちゃんの駅の備品購入の減額によりものです。また、小児医療費助成事業の扶助費は、医療費扶助の増額によるものです。次に、児童措置費ですが、要求額が513,947,000円で、前年度予算額が627,607,000円となっております。前年度比較で113,660,000円の減額となっております。事業内容といたしましては、子ども手当の支給に係るもので、3歳未満と3歳以上第3子以降は15,000円、3歳以上と中学生、特定施設入所者は10,000円、所得制限の方は5,000円となっております。また、11月定例会での予算要求資料から大きく変わったところといたしましては、所得制限の方に対して、5,000円を支給することになりましたので、予算額が増えたものです。次に、保育園費ですが、要求額が408,326,000円で、前年度予算額が345,056,000円となっております。前年度比較で63,270,000円の増額となっております。事業内容といたしましては、国府保育園の運営、民間保育所の入所者に対する運営費の委託及び補助、町外の保育所入所者に対する運営費の委託及び補助などとなっております。また、11月定例会での予算要求資料から大きく変わったところといたしましては、待機児童対策として、「5. 保育所の待機児童解消のため、町内民間保育所の増改築を行い、入所定員の拡大を図る。改修費に係る補助金」で、平成24年度に完成予定で計上しておりましたが、平成25年度に完成予定になりましたので、平成24年度・25年度事業として改めて、出来高見込みで

計上をしております。次に、児童福祉施設費ですが、要求額が 1,533,000 円で、前年度予算額が 1,735,000 円となっておりまして、前年度比較で 202,000 円の減額となっております。事業内容といたしましては、子育て支援総合センターの維持管理などとなっております。次に、幼稚園費ですが、要求額が 186,136,000 円で、前年度予算額が 163,999,000 円となっておりまして、前年度比較で 22,137,000 円の増額となっております。事業内容といたしましては、町立幼稚園 3 園の運営・維持管理、町外私立幼稚園の就園補助、町内私立幼稚園「こいそ幼稚園」の入園料、保育料などの補助となっております。また、11 月定例会での予算要求資料から大きく変わったところといたしましては、町内私立幼稚園補助事業で、入園園児数が確定したことにより減額になったものがあります。子育て支援室関係の計といたしましては、要求額が 1,273,466,000 円で、前年度予算額が 1,286,547,000 円となっておりまして、前年度比較で 13,081,000 円の減額となっております。

子ども育成課長) 引続き、子ども育成課関係の補足説明をさせていただきます。資料の 2 ページと 3 ページをお開きください。11 月定例会時の協議いただいたものと、今回最終的な要求額を比較して経緯について説明いたします。今年度の要求項目の中で、新規事業や主な事業についてご説明いたします。まず、予算科目の教育総務費でございますが、予算要求額は前年度比較で 13,268,000 円の増でございます。1 番の事業に含まれる内容で 11 月時点では要求していたもので、教育委員会会議録作成のための「会議録音データ翻訳委託料」につきましましては、予算化することができました。次に 5 番の中に含まれています教育支援員の配置の関係でございます。11 月の時点では、今年度、幼・小・中併せて 32 人の配置で予算要求しておりましたが、財政事情も厳しい中、要求どおりには予算化はできませんでしたが、時給を 870 円と増額した中、全体額が微増となっております。今年度と同様財政課からは不足した場合は、補正予算対応で対応したいと考えております。次に 7 番に含まれる内容で教育研究所事業の中にありますが、来年度、磯の生物のガイドブック作成につきましましては、印刷部数を減らすことにより予算化することができました。次に小学校費と中学校費につきましましては、共通の事業もございまして一括でご説明いたします。まず、予算要求額ですが、小学校費が 107,294,000 円の増、中学校費が 93,801,000 円の減となります。小学校費では 3 番、中学校費でも 3 番の児童生徒用のパソコンですが、11 月定例会の時点では、新規の借上げ料で予算を計上しておりましたが、再リースで対応していただきたいとのことでした。小学校費の 4 番になりますけれども小学校低学年に導入しております 35 人学級編制に伴う非常勤講師の配置でございますが、国の法改正に伴い小学校 1 年生は今年度より 35 人学級が導入されております。2 年生につきましましては、現時点では導入は流動的ですが、来年度の見込みで両小学校 2 年生の 2 名分が予算化されております。学校施設整備又はそれに伴う設計委託等につきましましては、12 番の国府小学校の学校プールの建設工事とプール整備後の維持管理費、13 番の国府小学校校舎の下水道接続工事とトイレ改修の設計委託を優先させていただき予算化されております。11 月定例会時に予算計上しておりました教育環境施設整備事業につきましましては、大磯小学校普通教室分の扇風機について小学校費の 2 番に含まれ予算化されております。また大磯小学校体育館改修の設計委託料について

は、補正予算での対応を考えております。その以外の大磯小学校グラウンド改修、国府中学校グラウンドの改修工事に伴う備品購入は平成24年度予算では予算化されませんでした。以上が主な項目ですが、総計で要求額が473,860,000円、前年度比較で26,761,000円の増となっております。子ども育成課関係につきましても、以上になります。

生涯学習課長) 資料の4ページをご覧ください。生涯学習課に関する予算要求でございますが、はじめに、社会教育費につきましても、予算要求額は19,599,000円、前年度予算額は20,432,000円で、比較しまして833,000円の減となっております。右側の主要事業等の要求内容でございますが、青少年、文化事業、学習館の管理、文化財、人権教育などの経常経費に多少の増減はございますが、総合計画や基本方針に基づき、引き続き事業展開を行うとともに、生涯学習関連事業につきましても、ライフステージに応じた各種講座などの充実を図ってまいります。主な新規事業としましては、生涯学習推進計画を策定してまいります。次に、11月に説明させていただいた後の変更点について説明します。生涯学習推進計画の調査委託料の減、生涯学習館の修繕料の一部減がございません。

図書館長) 資料5ページをご覧ください。図書館に関する予算要求です。予算要求額は75,415,000円で、前年度予算額は74,207,000円で、比較いたしますと、1,208,000円の増となっております。主要事業等の要求内容でございますが、3番図書館運営におきまして、本館と分館の臨時職員雇用による効率的な運営を図るほか、一般向けの教養講座を開催いたします。また、6番子どもたちの読書推進につきましても、昨年度策定しました、第二次計画に基づく事業の推進を図ってまいります。11月との変更点につきましても、当初要求額に対して、3番事業における臨時職員賃金の減、5番事業における図書資料費の減、6番事業における図書などの消耗品の一部減です。

郷土資料館長) 資料6ページをご覧ください。郷土資料館に関する予算要求ですが、予算要求額は、43,650,000円、前年度予算額は40,956,000円で比較いたしますと、2,694,000円の増となっております。主要事業の要求内容は、郷土資料館の運営委員会経費、郷土資料館の運営と施設管理に関わる経費、資料の収集整理、調査・研究に関わる学芸活動経費、企画展やワークショップなどの普及活動を実施する経費になっております。主な増額分は、隔年実施しております常設展示室の船形山車の解体・組み立て展示委託、吉田茂関係整理のための消耗品の増となっております。11月との変更点につきましても、資料整備事業としましてプレハブ収蔵庫リース設置、公用車購入事業分が減となっております。

(質疑応答)

曾根田委員) 予算の表が付いてはいますが、全体的に見て来年度の予算編成で結論から言うとシーリングはないけれども、逆にきついなというイメージです。やりたいことがやれない感じですか。

子ども育成課長) 今、財政状況が厳しい中で、いろいろと財政課とも話をした中で、子ども育成課としては完全ではないですが、整備の関係で国府小学校のトイレ改修も入れることができましたし、扇風機の方も頭を絞ってやらないといけな

いようなお題を逆に与えられたような部分もありあますが、予算化はされました。あと教育支援員の関係とかも補正対応でと言われておりますので、最低限はどうか確保できたのではないかと思います。

委員長) 毎年似たようなものを要求していて通らないというのは教育環境の改善から言うともう少し考慮してもらっても良いかなと思います。理事から話がありましたが、税収が1%落ちている中で今回の数字としては教育委員会全体で言ういろいろな要素はあるだろうけれども、プラスになっている訳で教育に対する予算は予算全体からみると考慮されているように見えますが、個別に見ていくとまだまだ継続的に要求しているものが通らないというのは残念ですので来年に向けて教育環境整備については要求して行ってもらいたいと思います。

曾根田委員) 小学校費の13番をどうしてもやりたいということで、例えば、大磯小学校のグラウンドの改修とか、国府小学校の校舎の外壁とかフェンスは譲ったということですよ。

子ども育成課長) 今回、要求するにあたって修繕計画といった形で今回要求しているものを優先順位を付けて今後どのような考え方で行くのかということを示して最終的に優先した形になります。大磯小学校のグラウンドにつきましては設計が今年度終わる訳ですが、計画上は1、2年見送ると言った形で考えております。東日本大震災の関係で国庫が付きにくくなっておりますのが、国庫等の補助金も活かしながら考えております。

曾根田委員) 図書館についてですが、少し考えを変えたのですか。

図書館長) 11月の時と表現が変わっておりまして、11月の時には学校図書館の設置しておりますパソコンの維持管理を図書館で行う予算になっておりましたが、そちらは学校の方で行う予算に変更になっております。

曾根田委員) 最後から4行目、家庭、地域、学校の関係機関、団体等と図書館が連携、協力を進めるとありますが、どんなことをイメージされていますか。

図書館長) 前回、お話をさせていただきましたが、学校図書館との連携や家庭、地域、ボランティアの方との学校のボランティアや図書館のボランティアの方と連携して読書活動について連携を深めていきたいと思っております。

曾根田委員) 郷土資料館の収蔵庫は。

郷土資料館長) 大磯中学校の体育館の付属施設の建物がございまして、そこを防災倉庫として改修し整備いたしまして、今使っている防災倉庫の防災用品をその中に入れて空いた部分を郷土資料館の収蔵庫として使わせていただくとすることで、経費的にもかなり安くなりますので、その方向で進むこととなります。

曾根田委員) 細かい質問ですが子育て支援室から職員給与の130万円は何ですか。

子育て支援室長) 総務課が計算した中で計上しておりますが、1月1日で昇給がありまして、その辺は反映していなかったのが、金額の見直しをしまして金額が変わっております。

曾根田委員) ひとり親の関係は15名くらいの減だけど余裕を見て計上していたということ。

子育て支援室長) 余裕を見て計上しております。

曾根田委員) 当初の人数を言葉が悪いけれど、多めに見ていたということ。

子育て支援室長) ヒヤリングや査定の中で見直してございます。

曾根田委員) 保育園維持管理事業は苦しいけどやむを得ない感じですかね。

子育て支援室長) 今年度、出来るところは今年度に前倒しでやっている部分もありますので、調理室の空調設備は今年度で対応していますので減になっております。

曾根田委員) 町内私立幼稚園補助事業は保護者への補助を500万円減らしていますが、これは。

子育て支援室長) 入園の申し込みがあって人数がだいたい確定いたしましたので、それで調整しまして結果的に減になった形です。

曾根田委員) 子ども育成課ですが、4ページの職員給与は充て指導主事ともう1人はだれ。

子ども育成課長) 総務課が担当ですので確認いたします。

曾根田委員) 感想ですが減が多いですね。学校プールの整備事業は年度割ですよ。国府小学校の改修事業の要求が1,000万円だけど、設計委託料のみだよ。

子ども育成課長) 11月の要求は設計委託料のみです。最終的には下水道の接続工事の校舎の方は入っています。それとトイレ改修については設計委託のみです。最終的な要求では下水道工事費とトイレの設計委託費で828万円となります。

曾根田委員) 最初はなかったものが追加されたということでしょう。

子ども育成課長) 当初は下水道接続もトイレ改修も大きい国府小学校の改修の中に含んでいて、設計委託しか来年度はやらない予定でしたが下水道が小学校まで来ていますので、下水道工事はやろうということで、切り離したという形です。

曾根田委員) 大磯小学校の体育館の改修は0になったけど。

子ども育成課長) 9月補正で耐震調査を行いまして、その内容を見て、設計していくということで当初予算には計上せず、補正での対応を考えております。

曾根田委員) 6ページの中学校の学校施設整備維持事業が700万円減っているけど、やりたいけどしぶしぶと言うことですよ。

子ども育成課長) 支援室の方もそうですが、今回は細かい備品や修繕費はかなり削られていて、今年度予算の光熱費等の執行残がありますので、それで対応させてということで厳しい結果になっております。

委員長) 教育総務費の5番目のところで教育支援員を配置するという話がありましたね。32名要求しているということで、32名分の経費ということですか。

子ども育成課長) 当初の教育支援員については32名で要求しています。今年度ベースで1回、切られてしまった。その後単価が850円から870円にあげるといってその分が今年度ベースより増額になっております。人数的には32名で要求しておりますが、枠の中でうまく配置してくれということで、配置をもう1度検討していますが、足りない分につきましては補正を検討しております。

委員長) 心の教室相談員等の人に関わる部分については学校が年度途中で要求してくる場合もあると思いますが、変化に迅速に対応できるようにぜひやっていただきたいと思います。追加配置になった場合には支障がないようにしてもらいたいと思います。3ページの中学校費の7番文化体育大会生徒派遣費というのは音楽大会や部活動の大会や英文朗読大会への移送費が派遣費と理解しているのですか。

子ども育成課主幹) 部活動等で大会に出た場合の移動費です。

委員長) 部活の状況によってずいぶん違うと思いますが、喜ばしいことに足らなくなることもあれば、予算を消化できない状況もあると思いますので、柔軟に対応してもらいたいと思います。

大橋委員) 国府小学校の下水道の工事だけの予算になったのですが、トイレ改修はP T Aからの長い要望だったので、トイレが匂わなくなるのなら一安心です。先生方のコンピュータの時もそうでしたが、子どもたちのコンピュータも長年の懸案ですので子どもたちのコンピュータが新しくなるまで言い続けていかなければいけない問題だと思いました。

青山委員) 子育て支援室の子育ての悩み等に対応する費用が30%近く、額は少ないですが削減になっていて、この段階で問題を見つけ出して町が対応していくということは小学校になってからの引きこもりや不登校などの問題の発生も抑えていける部分だと思いますので、予算をあまり減らされることなく充実した内容にして行っていただきたいと思います。先々につながる部分だと思います。

子育て支援室長) 要求の部分で前年より多くなっているのが、東部地区に集いの広場的な物を週3日くらい保健センター等でも行っていこうということで、その分の賃金を要求しました。それが東部地区も週5日の中で支援センターで対応した方が良いということで賃金を落としましたので、今年度並みには対応できるようになっております。

委員長) 先ほど、数値の間違えがときどきあるので、それは絶対あってはならないことですので十分に精査してもらってそのようなことがないようにしてもらわないと事前に配布されても意味がなくなるのでよろしくお願いします。内容についての質問に答えられるようにしてもらわないとここでやる意味がなくなりますのでそれをお願いします。それでは、討論を打ち切り採決に入ります。議案第18号について、原案のとおり採択したいと思いますが、ご異議ありませんでしょうか。

各委員) 異議なし。

委員長) 異議なしの声がありましたので、議案第18号 平成24年度当初予算における教育委員会予算要求については原案どおり承認いたします。

議案第19号 平成24年3月補正予算における教育委員会予算要求について

書記が議案を朗読し、教育長から提案理由の説明を行った。

子育て支援室長) 3月補正予算について、まず、歳入についてご説明させていただきます。歳入の国庫負担金の保育園運営費負担金ですが、補正理由としては、児童保育委託料減に伴う国からの負担金の減になります。次に、県負担金の保育園運営費負担金ですが、補正理由としては、児童保育委託料減に伴う県からの負担金の減になります。次に、県補助金の民間保育所運営費補助金ですが、補正理由としては、民間保育所運営費補助金減に伴う県からの補助金の減になります。次に、県補助金の安心こども基金交付金ですが、補正理由としては、神奈川県町村情報システム共同事業組合への子ども手当システム改修費負担金の増などに伴う県からの補助金の増になります。次に、歳出についてご説明させていただきます。まず、子ども手当等支給事業の負担金補助及び交付金ですが、補正理由は、神奈川県町村情報システム共同事業組合への子ども手当システム改修費負担金の増のためです。次に、児童保育委託料等事業の委託料です

が、補正理由は、児童保育委託料の定員増員分の減のためです。次に、児童保育委託等事業の負担金補助及び交付金ですが、補正理由は、民間保育所運営費の定員増員分の減のためです。次に、保育園待機児童対策事業の負担金補助及び交付金ですが、補正理由は、民間保育所改修実施年度変更に伴う補助金の減のためです。

子ども育成課長) 続きまして教育総務費の学校教育指導振興事業の消耗品費ですが、補正理由は平成 24 年度分の中学校教員用教科書・指導書の購入のため予算要求するものです。次に支援教育推進事業の臨時雇賃金ですが、補正理由はたかとり幼稚園の教育支援員を増員したことにより、予算が不足したため予算要求するものです。次に小学校費の大磯小学校体育館耐震改修事業の調査委託料ですが、補正理由は、入札による執行残を減額するものです。次に学校プール整備事業の監理委託料ですが、補正理由は契約による年割額変更により減額するものです。この事業は平成 23 年度・24 年度の継続費で実施するもので、予算要求時は、平成 23 年度に中間払いを見込んでおりましたが、監理委託料入札後の契約により工事完了後の精算払い 1 回となったため、平成 23 年度中の支払いは不要となったことによるものです。次に教育振興事業の社会保険料と臨時雇賃金ですが、補正理由は、35 人学級非常勤講師の社会保険料・臨時雇賃金を減額するものです。当初予算では、大磯小学校 2 年及び国府小学校 1 年・2 年を予定してましたが、義務教育標準法の改正により小学校 1 年生は 35 人学級となったため、町の非常勤講師の採用が不要となったものです。次に学校給食運営事業の臨時雇賃金ですが、補正理由は人事異動により、給食作業員を増員したことにより、予算が不足したため予算要求するものです。同じく学校給食運営事業の消耗品費及び給食用備品購入費ですが、補正理由は来年度大磯小学校が 1 クラス増になる見込みであり、給食用の消耗品・備品を新たに購入するため予算要求するものです。次に中学校費の学校運営事業の学校備品購入費ですが、補正理由は来年度大磯中学校が 1 クラス増になる見込みであり、備品を新たに購入するため予算要求するものです。

子育て支援室長) 次に、幼稚園施設・設備維持事業の需用費ですが、補正理由は、町立小磯幼稚園電気・水道メーター設置のための修繕料の増のためです。次に、幼稚園施設・設備維持事業の役務費ですが、水道メーター検査手数料の増のためです。

生涯学習課長) 予算科目は社会教育費、事業名及び予算科目は生涯学習整備事業、調査委託料です。主な補正理由は、生涯学習館の耐震診断委託料の入札による執行残でございます。

(質疑応答)

曾根田委員) 子ども手当システムの改修は平成 23 年度に 590 万円の予算でやったのだけれども、補正で 330 万円プラスになるのは通常国の契約とかで考えると追加で多いと思うけど理由はあるの。

子育て支援室長) 子ども手当システムは神奈川県内の町村で共同の組合を設置しまして、そちらに移行するように準備を行っております。現在の 590 万円の内容は NEC に委託しておりますので、それは終わるのですが、来年度からの修正については共同組合での対応になりますので、負担金という形で支出するようになって

てきます。こちらは国の子ども安心基金の交付金ですので、繰越明許をした中で 24 年に執行する形になります。

曾根田委員) 具体的に言うと負担金になるの。普通に考えるとプラス 7 割くらいのお金がかかるとはおかしいでしょ。議員さんからそういう質問があるかもしれないよ。それと内部資料で聞きたいのは歳出の方の教育振興費の臨時賃金でマイナス 320 万円じゃないですか。当初、670 万円で年度の初めにはわかっていた話だよ。

子ども育成課長) 当初は 1 年生が国の方で 35 人学級にするのか流動的でしたので、それが無くても町の方でやって行くつもりでしたので、県費の方で 1 年生については 35 人学級にするということでその分の余りが出ております。

曾根田委員) もしもの時のために対応できるようにしていたということ。

子ども育成課長) そうです。

曾根田委員) 社会教育費で調査委託料がマイナス 300 万円だけど、あまりにもひどいと思うけど、安くて良いのだけれど。コンサルだから最低制限はないと思うけど、ちゃんとした会社ですよ。

生涯学習課長) 補正で計上した時に生涯学習館の図面が見つからず、入札の直前に図面が見つかりましたので、設計額が約 400 万円が 300 万円の執行伺で作りました。この業界は競争が激しいのと、同じような入札が重なりまして経費の計算が安くなったのと企業の努力が原因だと思います。業者も問題ないと聞いておりますので、成果品も問題なく出てくると思います。

委員長) この資料にも誤字がありますので、くれぐれもないようにお願いします。それでは、討論を打ち切り採決に入ります。議案第 19 号について、原案のとおり採択したいと思いますが、ご異議ありませんでしょうか。

各委員) 異議なし。

委員長) 異議なしの声がありましたので、議案第 19 号 平成 24 年 3 月補正予算における教育委員会予算要求については原案どおり承認いたします。

議案第 20 号 大磯町立図書館の設置、管理等に関する条例等の一部を改正する等の条例について

書記が議案を朗読し、教育長から提案理由の説明を行った。

図書館長) 議案第 20 号「大磯町立図書館の設置、管理等に関する条例等の一部を改正する条例について」補足説明をさせていただきます。1 ページ目をご覧ください。改正の概要としましては、先程教育長からの改正理由にもありましたように、「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」が昨年 8 月に制定されたことにより、「図書館法」及び「博物館法」の一部改正が行われました。これによって、図書館並びに資料館の委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌して条例で定めることとされたことになりましたので、図書館関係条例の 1 本化を図るため、「大磯町立図書館の設置、管理等に関する条例」に協議会に関する規定を追加し、「大磯町郷土資料館の設置、管理等に関する条例」の一部改正を

行い、また、「大磯町立図書館協議会委員の定数及び任期に関する条例」の廃止をするものです。改正の内容につきましては、1つ目として、図書館関係条例の1本化のため、「大磯町立図書館の設置、管理等に関する条例」に図書館協議会についての規定を追加いたします。具体的には、第1条に、図書館法における協議会に関しての根拠条例の16条を追加します。また、現行の第9条を第10条としまして、第9条として、新たに、図書館協議会に任命基準と任期に関する規定を追加します。定数につきましては、「大磯町附属機関の設置に関する条例」に定数が定められているため、ここへの規定をいたしません。次に、「大磯町郷土資料館の設置、管理等に関する条例」におきましては、任命基準を新たに定めるとともに、法令に準拠して「委嘱」を「任命」に改めてまいります。最後に、図書館関係条例の1本化にあたり、昭和30年に制定された、「大磯町立図書館協議会委員の定数及び任期に関する条例」を廃止するものです。2ページは、3つの条例の新旧対照表です。また、3ページから5ページにかけては、3つの条例の現行条例です。以上、「大磯町立図書館の設置、管理等に関する条例等の一部を改正する等の条例」につきまして、よろしくご審議のうえ、ご承認くださいますようお願いいたします。

(質疑応答)

委員長) 国の法令が変わったということを受けて町の条例改正をするというスタンスの中で特に1ページの説明のあった部分が主な変更点ということで、①、②、語句の追加、任命基準を新たに定める。郷土資料館の方では法令に準拠して、委嘱を任命に改める。

曾根田委員) 図書館協議会については附属機関という条例があるのでそこで人数とかとか書いてあるので良いと思いますが、郷土資料館はそのような条例がないので規則でやると思いますが、ここではやらなくて良いのですか。もう1つ第9条第2項、委員の任期は2年とし、再任は妨げない。ただし、任期途中で新たに追加した委員の任期は、他の委員の任期に合わせるものとする。例えば、他の委員の任期でヨウイ、ドンで2月1日から2年とするのですか。

図書館長) 最初に2月1日からとなった場合は、翌年1月31日までになります。途中で退任があり、新たに任命された場合は、1月31日までで他の委員の方に合わせる形になります。

曾根田委員) 任期途中で新たに追加とありますが、2つ解釈がありまして、1つは今おっしゃったように欠員が出た場合は新たに追加する場合とそうではなくプラスするのはどうなるのですか。

図書館長) そのような場合もありますが、大磯町附属機関の設置に関する条例で、定員を6名とし、現在定員一杯の6名を任命していますので、新たな任命は発生いたしません。

曾根田委員) 欠員が出た場合における補欠の話が1つともう1つ分からなかったのが、6人が2月1日スタートで誰か1人が9月に辞めたら、全員終わりではないですよね。他の委員は前任の委員という意味ですよね。

図書館長) この規定に関しましては、法制担当と相談し、このような形で作成しています。

曾根田委員) 例えば、任期途中で新たにというのは分かりますが、他の委員というの

はA、B、Cとあって、Bが欠員で、Cの任期に合わせるということも考えられると思います。他の委員の任期に合わせるということを理解したのは全員が同じ、スタートで始まって終わると捉えたのですが。

図書館長) 途中で入った方も2年間の任期では無く、他の委員の方と同じという意味です。

曾根田委員) 我々のように任期がそれぞれ違うということは無いのですか。例えば、1人が今年の2月から2年、他の人は去年から委員をやっているという例はないのですか。

図書館長) それはないです。

曾根田委員) 全員、同じところからスタートですか。

図書館長) 同じところからスタートです。

委員長) 今の前提が崩れるといろいろな取り方ができるのですが、スタートは必ず、間違いなく同じ日なんですよね。

曾根田委員) 条例だからきちんと書いておかないとどのような解釈も出来ますよ。

図書館長) 法制担当と再度確認いたしますが、規定説明内容といたしましては、全員が同じ日からスタートをいたします。再度、法制と規定を確認してまいります。

曾根田委員) 単純に昭和60年のをどうして変えたのかな。

図書館長) 当初、昭和30年の条例に追加を考えていたのですが、法制担当から、他の委員会等の任期についての規定と同様の、このような規定を提案されました。

曾根田委員) 意味は欠員になった場合に新たに来た人も残任期間ですよという意味ですよ。

図書館長) はい。

委員長) そこはもう一度、他の書き方の方が良いという意見もありますが、他にありませんか。

曾根田委員) 今回、法改正があって、条例は4月1日からスタートしますが、図書館法と博物館法とあって、学校運営協議会は条例になっていないのですか。

委員長) 学校教育の方は大丈夫ですか。

子ども育成課長) ないです。

委員長) それでは、討論を打ち切り採決に入ります。議案第20号について、原案のとおり採択したいと思いますが、ご異議ありませんでしょうか。

各委員) 異議なし。

委員長) 異議なしの声がありましたので、議案第20号 大磯町立図書館の設置、管理等に関する条例等の一部を改正する等の条例については原案どおり承認いたします。

(閉会)

会議の経過を記載し、その相違ないことを証しここに署名する。

平成 24 年 3 月 23 日

委 員 長 _____

委員長職務代理者 _____

委 員 _____

委 員 _____